



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	地域住民の不安の解消		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-1-4)の目標としているため			
活動指標	指標	a	相談件数	b		c		d	
	数値	目標	7,000	目標		目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
地域住民の不安の解消		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 相談件数	件	8,962 件	7,987 件	7,927 件
		128 %	114.1 %	113.2 %
b				
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
相談員の技量に差があり、対応に格差がある
対応（改善点等）
定期的に研修会を実施する

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

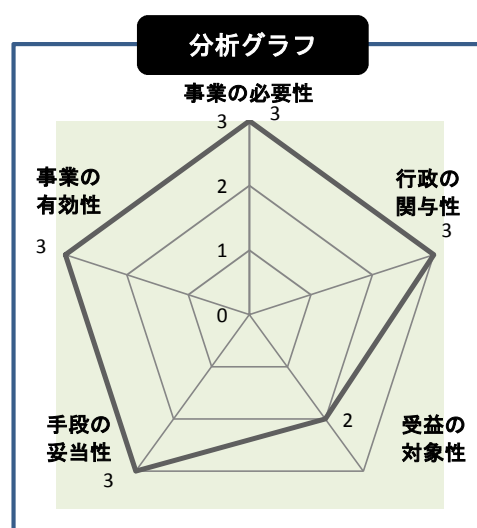
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		19,174	20,508	12,000	12,000
財源内訳	国費				
	県費	12,000	7,998		
	市債				
	その他				
	一般財源	7,174	12,510	12,000	12,000
うち経常				12,000	12,000
事業費に係る人件費		425	427	438	430

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平成21年度までは、県の補助事業があったが、平成22年度から市単独の事業となったため委託料を減額している。これ以上の減額は現状では厳しい

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 少子高齢化が進行する中では、地域住民の不安の解消には必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 広く地域住民が相談するためには、行政が行うべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 在宅の要援護又は要援護となるおそれのある世帯が対象
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 身近に相談できる場所があり、よく利用されている
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 相談に対する整備が図られているため



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	事業の精査、事務執行体制の在り方について検討を行うこと